



開学記念メッセージ

公益財団法人琉球大学後援財団
理事長 金城 棟啓

開学 70 周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

戦後 75 年。東京オリンピック開催。琉球大学開学 70 周年という節目の年がコロナウィルスにより大きく揺らいでいます。世界はwithコロナとどう向き合いアフターコロナをどう構築していくのでしょうか。私は、ユイマールの精神がレジリエンスの肝だと感じています。

周年事業の依頼で県内企業を訪問したときに感じたことがあります。琉大卒業生が様々な分野で活躍していること。そして、琉大への期待の大きさです。戦後の焼野原に始まった沖縄復興の息吹が、今も脈々と受け継がれている。それは、自分たちが沖縄の未来を背負っているという矜持であり、次世代への「無償のバトン」でもあります。

ICTやインターネットによりあらゆる事柄が再定義され、コロナ禍で新たなパラダイムシフトが起きています。「地域とともに豊かな未来社会をデザイン」を掲げる琉球大学の真価が今まさに問われています。「ピンチをビッグチャンスに」チャレンジする若人が沖縄だけでなく、世界を変えていくことを期待するとともに、当財団はそういう皆さんをこれからも応援したいと思います。